

IκBキナーゼ

Cat. No. EXWM-3129

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素は特定のセリン残基でIκBタンパク質をリン酸化し、これによりユビキチン化経路を介して破壊のためにマークします。その後のIκB複合体 (IKK) の分解は、炎症、免疫、細胞増殖およびアポトーシスにおいて重要な役割を果たす翻訳因子であるNF-κBを活性化します。セリン残基がスレオニン残基に置き換えられると、酵素の活性はかなり低下します。

別名 CHUK; IκBKA; IκBKB; IKK; IKK-1; IKK-2; NFκBキナーゼの阻害剤; NF-κBキナーゼの阻害剤; STK12; TANK結合キナーゼ1; TBK1

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.7.11.10

反応 ATP + [IκBタンパク質] = ADP + [IκBリン酸化タンパク質]

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5-9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。